

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>「笑顔あふれる学校」をめざす。 笑顔は、授業で、教室で、仲間と、保護者も、地域も、充実の笑顔になるよう意欲的に工夫改善していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 主体的に考え、表現する子ども 2 何事にも本気で取り組む子ども 3 人とかかわりながら、互いに高め合う子ども <p>職員全体で話し合っって共有化した上記のめざす子ども像実現に向けて、学年・学級、各セクトごとに具体的な手だてを検討し、実施していく。</p>

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	<p>○よりよい人間関係の形成をめざし、互いに認め合い、高めあいながら、自尊感情を育てていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会の取組により、あいさつ運動に全校で取り組む。 ・異学年交流を通して、友達を認め合い励まし合おうとする気持ちを育てる。 ・シーズンコンサート 音楽の授業で学習したことを学年で発表する。演奏したり音楽を聴いたりすることにより、音楽のよさを味わう。 ・土に親しむ活動として、菜園や学校田を生かして、まちの人たちとかわる。
担当	道徳・人権 ・児童指導

2 児童の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校の児童は何事にも意欲が高く、学習・運動だけでなく、係や当番活動、委員会活動などにも積極的に取り組んでいる。また素直な子が多く、学級・学年の友だちや異学年と関わり合いながら仲よく過ごしている姿が多く見られる。その反面、自分の思いをうまく伝えられなかったり、友だちの思いを受け止められなかったりする場面が見られ、コミュニケーション力が不足していると言える。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- 全教育活動における道徳教育と道徳の時間との関連を重視した学習の総合化を図る。
 - ・道徳教育の全体計画を作成し、全体計画に基づいて意図的、計画的に道徳教育を進める。
 - ・日常の教育活動や総合的な学習の時間を通して行う体験活動、学校行事では、道徳の「内容項目」と関わるねらいを明確にして、子どもの問題意識を高める指導を行う。
- 子どもたちの道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成する。
 - ・道徳の時間における課題解決的な学習では、道徳的価値を把握することや自己を振り返り、自分自身の中によりよく生きようとする心を見つめるだけでなく、自己の生き方、人間としての生き方につながっていく発展的な思いや課題を見いだしていくことも大切にした学習を展開する。
 - ・道徳の時間の学習は、中心的な資料を手がかりに、子どもの体験や資料に対する感じ方や考え方を交えながら話し合いを深めることを通して、一人ひとりが、道徳的価値の含まれるねらいとのかかわりにおいて自己を見つめることができるようにする。また、多くの道徳的価値に触れさせることで、主体的に道徳的実践力を身につけられるようにしていく。